

令和7年度11月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

【会議名称】 令和7年度11月期古賀市社会教育委員の会議

【日 時】 令和7年11月28日（金） 18時30分～20時00分

【場 所】 リーパスプラザこが交流館 多目的ホール

【内 容】 ・「生涯学習笑顔のつどい」進行等の確認

【出席委員】 園議長、橋爪委員、安部委員、石川委員、梅谷委員、江口委員
倉掛委員、大賀委員、坂崎委員、藤田委員、（以上委員10名）

【事務局】 生涯学習推進課長、職員2名

【傍聴者数】 0名

【配布資料】

- ・レジュメ
- ・資料① 進行案

1. 開会

2. 協議事項

生涯学習笑顔のつどい 進行等の確認

笑顔のつどいに向けて、社会教育委員 10 名で模擬グループディスカッションを行った。

【決定事項】

- ・グループディスカッション進行の流れ
自己紹介(3分)→感想→特にグループの関心が高い内容を深堀り→グループまとめ(5分)
- ・5 分前に司会がアナウンス。最後にグループまとめをする。
- ・模造紙には団体ごとに出た感想を単語でいいので、社会教育委員が書いていく。
- ・3 団体バランスよく意見や質問を出してもらう。
- ・参加者が 9 グループ以上來た場合は、各グループの人数を増やして対応する。

(事務局)

周知方法について、事務局からは区長会、民生委員会、校長会で案内とチラシの配布。また、古賀市公式 LINE、小中学校の安心安全メール、市のホームページで周知する。委員の皆さんにも周知お願いしたい。チラシが必要な場合はご用意しますので、枚数をご連絡ください。

(倉掛委員)

前回の発表者にも参加依頼文を出し、その方から意見を聞くことも大切だと思う。

(梅谷委員)

社会教育委員それぞれが他の会議に参加する際に、チラシを配布し、笑顔のつどいの説明をしたらいいと思う。

(園議長)

発表団体が活動のよさを見つけてもらい、発表者が元気になってもらうことが大切。
グループまとめの中で発表団体のよさをたくさん引き出していくたらと思う。

3. その他

(1)各委員から

- ・九州ブロック社会教育研究大会(アクロス福岡)の報告

(園議長)

私は第2分科会に参加した。1つ目が熊本県で地域おこし協力隊のデジタルを活用したeスポーツの発表だった。地域を活性化させるための取り組みだったが、3年間という任期の中で行う難しさがあるようだった。2つ目が佐賀県のNPO団体だったが、家庭支援について、マスコミ的にケーブルネットを使ってCMしながら認知度を高めていき、SNSで繋がりながらどんどん前進していく団体で、とてもエネルギーだった。

(安部委員)

第2分科会に参加し、沖縄県と宮崎県の発表を聞いたが、共通しているのは、公民館活動の活性化が重要だと思った。

(梅谷委員)

第2分科会に参加した。沖縄県の発表は、人材育成の取り組みとして、「なんじょう市民大学」があり、平均的な参加者が40代。若い世代の人が来るような仕掛けを工夫していた。宮崎県の発表では、地域の行事を通しながら次世代とつながり文化を伝えていく内容で、キーワードは人材育成だった。地域の子どもたちに教えていくことを大切にしていた。2日目の記念講演でいいと思ったのは、人育てをしないと花が咲かない。地域の人材育成する仕組みを作っていくことが重要で、古賀市も人材育成にどれだけ力を入れていくかだと思った。

(大賀委員)

第3分科会に参加した。1つ目の熊本県のeスポーツでは、子どもたちや年配の方もパソコンを使って活動していた。2つ目の佐賀のNPO団体は365日年中休みなく電話相談ができるサポートがあった。いつでも子育ての相談ができるのはすごいなと思った。

(江口委員)

第2分科会に参加した。沖縄県は市民大学など活発だった。どうコミュニティーを維持していくか。小さな町なので、総動員で地域をまず守るというところが勉強になった。島根県は「小さな拠点」をつくっていくお話をだつた。少子高齢化の中で工夫して活動しており、中心となる人づくりをしていた。

(石川委員) 12月6日(土)古賀クリスマスマーケットの案内

(2) 事務局から

- ・市長、教育委員との懇談会

日時：12月18日（木）15時30分～17時

場所：市役所 501～503会議室

（15時20分 市役所2階市民ホールに集合）

(3) 次回開催日程

1月 23 日（金） 18：30 ～ 会場： 103洋室

4. 閉会